



環境 データ編

1 気候変動対応

温室効果ガス排出削減

■ 温室効果ガス(全7ガス) 排出量(住友化学(全事業所))

(千トン-CO₂e)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素(CO ₂)	エネルギー起源	3,347	2,559	2,405	2,454	2,543	2,722	2,645
	非エネルギー起源	65	55	50	93	155	142	157
メタン(CH ₄)		—	—	—	—	—	—	—
亜酸化窒素(N ₂ O)		76	65	45	35	23	15	20
ハイドロフルオロカーボン(HFC)		—	—	—	—	—	4	4
パーフルオロカーボン(PFC)		—	—	—	—	—	—	—
六フッ化硫黄(SF ₆)		—	—	—	—	—	—	—
三フッ化窒素(NF ₃)		—	—	—	—	—	—	—

(注)「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出



環境 データ編

省エネルギー

2020年度 エネルギー消費原単位の内訳 (住友化学)

	a エネルギー消費量 (千kl) [原油換算]	b 生産量 (千トン) [エチレン換算]	a/b 原単位
愛媛工場	480.2	762.3	0.630
千葉工場	341.2	380.1	0.898
大阪工場	22.9	16.2	1.415
大分工場*	62.1	67.0	0.927
三沢工場	10.4	9.2	1.127
大江工場	33.6	117.8	0.285
合計	950.3	1,352.6	0.703 (2005年度比85.1%)

(注) 「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

※ 大分工場は、岐阜プラント、岡山プラントを含む

エネルギー消費量とエネルギー消費原単位 (住友化学)



(注) 「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

目標

エネルギー消費原単位を2020年度までに2005年度比で15%改善 (年平均1%改善)
エネルギー起源CO₂排出原単位を2020年度までに2005年度比で15%改善 (年平均1%改善)

実績

2020年度のエネルギー消費量は950.3千kl [原油換算]
エネルギー消費原単位は、前年度比2.7%悪化したが、2005年度比15%改善
エネルギー起源CO₂排出原単位は、前年度比2.2%悪化したが、2005年度比13%改善

2020年度 エネルギー消費量およびCO₂排出量 (住友化学 (全事業所) および国内グループ会社)

	エネルギー消費量 (千kl-原油換算)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (千トン)
住友化学	963	2,645
工場部門	950	2,620
本社、研究所などの事務所部門	13	24
住友化学および国内グループ会社	1,767	5,312
工場部門	1,737	5,257
本社、研究所などの事務所部門	30	55

(注) ・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・集計対象は、P3に記載の会社と同じ